



4. この4年間で力を尽くしてきたこと

市民と共に！



県政報告会

□ スライド等を使い、県政の現状や僕の日々の活動についてお伝えしてきました。



会合・イベント

□ 多くの会合、イベントに伺う中で、皆さんと意見交換をしてきました。



陳情

□ 通学路、教育、環境など、様々なご意見・ご要望をいただく中、常に現場調査を行ってきました。



「NEXT吉川」

□ 市民と政治家の共動により「次世代のために価値ある未来を創ろう」と勉強会やイベントを開催してきました。



吉川ビジョン政経塾

□ 政治経済の専門家を講師に迎え、明日の吉川市を担う若い人材を育てるべく勉強会を重ねてきました。



議員インターンシップ

□ 学生や市民が議員活動に同行するインターンシップにより、「生の政治」を体験出来る機会を提供してきました。

未来を創るために！



吉川美南高校

□ 生まれ変わった「吉川美南高校」。野球部の復活や演劇部の活躍、さらに進学就労率のUPなどにより、地域に愛される高校へと成長します。(生徒会の皆さんと)



吉川橋

□ 長年の懸案だった「架け替え工事」も「仮橋設置」を含めてようやくスタート。吉川市の新たな顔が誕生します。



道路

□ まだまだ課題は山積ですが、「さくら通りの三郷までの延伸」をはじめ「東埼玉道路」「越谷野田線」「三郷流山線」の整備も着実に前進してきました。



防災

□ 水害や地震に対して「自助・共助」の備えを進めると同時に、高齢者や障害者等のための「福祉避難所」の充実、またそこでの「食物アレルギー患者」への対応を求めています。



障害者問題

□ 「ノーマライゼーション」社会の実現には「教育」と「就労」の充実が重要。まずは「先生の増員」、「実習先企業の開拓」から。



農業

□ 埼玉県型の圃場整備による「収益力の向上」、新規農業従事者の拡大による「生産性の高い農業を展開・持続」を進めています。



高齢者問題

□ まずは「健康長寿」を目指す取り組みを。そして「地域包括支援センターの充実」、「認知症へのサポートの充実」等を求めています。



北朝鮮拉致被害

□ 一地方議員としては微力でも、「最後の1人の救出まで」出来る事を求めています。街頭での署名活動などを展開しています。



不登校・ひきこもり問題

□ これまで20年間取り組んできているこの問題。埼玉県でも少なく見積もって4万2千人の若者が苦しんでいます。社会の価値観、産業構造、食環境などの根本原因の改革と同時に、若者への直接支援の充実を求めています。



キャリア教育

□ 「人間関係形成能力」「自己効力感」「課題適応能力」を育み、「社会に貢献出来る人材の育成」に力を入れた教育の推進。



自転車利用

□ 利根川・江戸川サイクリングロードは日本一の長さ。また自転車保有率・出荷台数も日本トップクラスの埼玉県。「健康増進」「環境負荷軽減」「地域活性化」をテーマに、「安心安全の自転車利用が可能な街」を目指しています。



水と川の再生

□ 「水と川の郷」である吉川市。その再生こそがさらなる発展の鍵です。合併処理浄化槽の普及と定期検査の実施率向上、「木売落し悪水路の浄化」「大場川の浄化と整備促進」「環境教育の充実」を求めています。



文化

□ 今後全国一のスピードで高齢化が進む埼玉県には、蛭川幸雄氏率いる「平均年齢75歳の高齢者演劇集団・さいたまゴールドシアター」があります。同様に「健康長寿」「生きがい」をテーマとした「吉川ゴールドシアター」の立ち上げを目指しています。



被災地支援

□ 個人への直接支援から自治体間の支援まで、あの日から様々な形で続けている支援活動。今後も吉川の皆さんと支援活動を続けてゆきます。



野生動物管理

□ 「野生動物の管理」は都市部においても今後大きな問題となります。「農林被害対策」「人獣共通感染症の予防」「狩猟文化の再構築」「命をいただく感謝の食育」「野生動物管理組織の立ち上げ」等の提案を行っています。



早朝駅前リーフ配布

□ 吉川駅、吉川美南駅にて、始発前から午前9時まで、県政報告リーフを配布しています。4年間続けてきた中で、多くの方にリーフを受け取っていただき、また多くのご意見をいただきました。今後も報告の場、ご意見をいただく場として、早朝駅前配布を継続してまいります。



ロックフェス

□ 吉川市などを中心に活動しているアマチュアバンドが参加するロックフェス。地域文化の発信場として恒例になりつつあります。



全戸ポスティング

□ 毎回、多くのボランティアさんの力を借りて吉川市全戸約26000に県政報告リーフを配布しています。そうした中で僕自身がお宅に伺い、ご意見・ご要望をいただいております。常に現場主義！これからも、皆さんと共に力を合わせて進めてゆきます。

5. 中原恵人のプロフィール

なかはら しげと | 1970年5月22日生まれ | ふたご座 | O型 | 吉川市在住 | 家族・妻、二男一女、デイズ(犬)

大久保クリニック 副院長 医学博士 大久保(中原)絵理



1 高校卒業時のロックバンドは遥か遠い夢



2 ようやく進学した大学では「塾経営」から「不登校・ひきこもり問題」に取り組むようになり

3 新党さきがけの武村正義氏との出会いで「政治」を知り



4 さきがけ解党と同時に政治から離れ「不登校・ひきこもり青少年への支援」に専念

5 自宅に生徒を預かるなど、多くの子供達・青年達と共に過ごし20年



6 「子供達の未来」には、社会構造や価値観の改革が必要と2011年4月の埼玉県議会議員選挙に立候補

7 組織もお金も知名度も無い中、1人でも多くの市民に気持を伝えようと毎朝駅に立ち、自転車で市内を走り回り、多くの仲間、同志を得て当選



8 「小さな声にも耳を澄まし、次世代の為に価値ある未来を共に創ろう！」を合言葉に無所属市民派として4年間全力投球!!

みなさん、こんにちは。県議・中原恵人が私の夫であることをご存知の方が多くなってきたと思いますが、その働きぶりは皆さんにどう映っているのでしょうか？4年前の県議当選以来、家族サービスもゼロに等しい状況(苦笑)で毎日飛び回っています。しかし県議では、吉川市民に直結した仕事が出来ない事も多々あり、本人が一番歯痒い思いをしているのではないかと思います。そんな中、吉川市は多額の借金をして華やかな市役所を移転新築しようとしたり、設備投資をしてまで水道水にフッ素化合物を混入する計画を立てたりと、吉川市では自分の子供は自分で守らないといけない状況になってしまっています。皆さんがもっと安心して生活が送れるように、私も体力の続く限り(体力に自信はありますが・・・笑)24時間体制の地域医療に貢献し、また夫を激励し続けようと思っています。皆さんも県議・中原恵人のこれからの働きにさらに期待をしてください！

趣味 スポーツ 創作活動 旅 バイク 仮面ライダー響鬼



野球 | フットサル | ゴルフ | 格闘技など



音楽 | 絵画 | 文章



アジア放浪



天気の良い日にツーリング



大好き・笑

様々な形で情報発信しています！是非アクセスしてください



著作：「これほどまでに不登校・ひきこもりを生み出す社会とは何なのか？」(北大路書房)など

経歴 1989年 開成高校卒業 | 1998年 筑波大学第一学群社会学類政治学科卒業 | 2011年 東京福祉大学大学院臨床心理学専攻博士課程修了

価値ある未来を、共に